吉井中学校通信

～高い志を持ち、心豊かでたくましい生徒の育成～

うきは市立吉井中学校
第　１７　号
令和８年１０月２７日 発行
文責　校長　金子 敬尋

柔よく剛を制す ブロック新人柔道大会



中体連のブロック新人大会で唯一行われていなかったブロック新人柔道大会が、１０月１７日（土）に大刀洗町柔道場で行われました。他の競技のブロック大会は９月に行われましたが、柔道は柔道競技部細則の中に「柔道修業期間を６カ月以上経過した中学生のみ、大会に参加することができる。」という文言があり、中学生になって柔道を始めた子どもの試合出場を可能にするため、柔道大会は９月ではなく１０月に実施されました。柔道部の子どもたちは、日頃の練習の成果をしっかりと発揮してきました。浮羽中学校と拠点校部活動としてチーム「うきは」で出場した男子団体戦では大刀洗中学校に敗れ、残念ながら筑後地区大会には進むことができませんでした。しかし、地区大会にはつながらないのですが、個人戦の「初心者の部」に出場した１年生の髙瀬湊大くんが見事優勝を果たしました。柔道部は、これからまた稽古に励み、精進していくと思います。

PTA 美化作業 親と子どもでがんばりました



１０月１７日（土）に運動場の美化作業を行いました。これは本校ＰＴＡ環境整備委員会の活動で、環境整備委員になっている保護者の方に行っていただきました。運動場の除草を中心に行っていただきましたが、当日は部活動に来ている男女バスケットボール部、男女ソフトテニス部、水泳部の子どもたちも手伝ってくれて大変助かりました。保護者と子どもたちが一緒に活動ができて、とてもいい取組になったと思います。参加していただいた委員の皆様、手伝ってくれた生徒のみなさん、ありがとうございました。

今年最後の中体連総合体育大会 筑後地区駅伝競走大会



１０月２１日（水）、大牟田市諏訪公園園路周回コースにおいて、筑後地区中学校駅伝競走大会が行われました。新人大会が始まってはいますが、この大会は３年生が出場する総合体育大会の最後の競技の大会となります。吉井中学校は男子の部に出場し、６区間１８．２６㎞を走りぬきました。残念ながら福岡県大会出場はなりませんでしたが、苦しくても最後まで走りタスキを懸命につなごうとする選手の姿や、それを一生懸命に応援する姿は、今年度本校が出場する最後の中体連総合体育大会を締めくくるにふさわしいものであったと思います。昨年に続き今年も雨の中でのレースでしたが、自分たちのベストをしっかりと出すことができた大会であったと思います。

全校生徒での楽しいひと時となりました



毎年行われている行事ではありませんが、本年度は１０月２３日（金）に文化鑑賞会を行いました。スカイ・ハイカルテットをお招きして、バイオリンやビオラ、チェロやフルートの演奏を全校生徒で楽しみました。有名なクラシックの名曲からアニメの代表曲や話題の曲など、様々な曲の演奏を聴くことができました。また、演奏の途中では、１年生の山田圭人くん、２年生の原口佑都くん、３年生の尾花聡太くんが指揮者体験に挑戦し、プロの演奏の指揮を行いました。最後はスカイ・ハイカルテットのみなさんへの質疑応答があり、たくさんの子どもたちが手をあげて質問をしてくれました。６０分（少し時間オーバーをしましたが）という短い時間でしたが、全校生徒で素敵な時間を過ごすことができました。